

V-Campus5th 更新
 — P4 サーバストレージ プロジェクト —

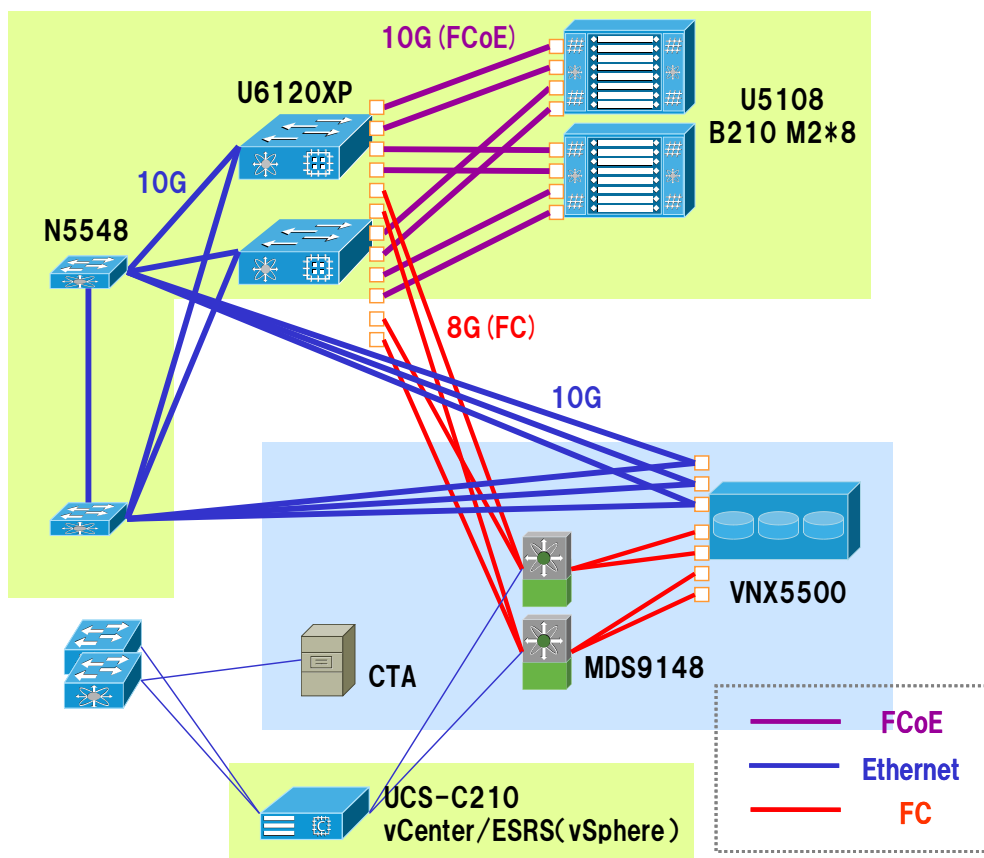
近年、情報教育の浸透とユーザのニーズの多様化に伴い、ホームディレクトリ領域の容量不足が課題となっている。

また、現行ファイルサーバの調査を実施したところ、6 ヶ月以上参照されていないデータが全容量の 60%を占めており、利用頻度の低いデータ(非活性化データ)が非常に多いことが判明した。

このような非活性化データを安価なディスクへアーカイブすることで、高速領域のディスク容量を復活させ、ファイルサーバの性能維持・向上と併せて、コスト削減も図る。

このように、柔軟性や費用対効果を高めつつ、現行システムの仮想化サーバ、並びにアプリケーションサーバと同等以上のインフラを構築する。

また、V-Campus4th から引き続き仮想環境を採用、必要に応じたリソースの拡張や最適化を容易に可能とし、研究用サーバリソースを提供するプライベートクラウドサービスを新たにスタートする。



図：接続概要図